



びえいフーズ農作物情報

2016年6月号

北海道美瑛地区は6月に入ってから日照時間が少なく、気温も低めの日が多い状況です。5月中旬頃は最高気温が30℃程度となった日もあったことから、6月1日発表の作況では生育状況は全般に平年並みからやや早めとなっていましたが、その後は停滞傾向です。



馬鈴薯の圃場。作付後好天であったため萌芽はバラつきがあったが早めであった。この先は、気温が低めの方が馬鈴薯にとっては好条件。



(左、中央)いんげん。

発芽後の6月上旬～中旬の低温のため生育は少し遅れ気味。

(右)にんじん(加工用露地栽培)が発芽した様子。まだ3～5cm程度。



(左)スイートコーン。ほぼ生えそろっている。発芽後6月に入ってから単純積算温度(毎日の平均気温を積算した値)は平年を下回っており、生育速度はやや鈍い。

(右)草丈10～15cm程度。

(6月16日撮影)